



世界文化遺産 賀茂別雷神社(上賀茂神社)

ちょう よう

菊酒をいただく五節句「重陽」体験と 宮司による講演を開催

京都は千年以上の長きにわたり都として栄え、雅な宮中文化が生まれ、今なおさまざまな形で市民生活の中に息づくとともに、東京の皇居以外に唯一現役の御所があります。こうした日本の歴史と皇室と京都との関わりを踏まえ、皇室の弥栄を願う「双京構想」の実現に取り組んでいます。

本年は、明治150年・平成30年の節目の年であり、来年には、今上陛下が上皇となられ、皇太子殿下が御即位されることとなっております。この節目の年に、双京構想推進検討会議（京都府 京都市 京都商工会議所）では、京都と皇室の関係を多くの方に身近に感じていただくため、明治以降行われなくなった宮中行事の五節句をテーマとした講演会とその一つである「重陽」にちなんだ体験行事を開催します。

平成30年

開催日時

10月17日[水]

14:00～ 2時間程度

会場

世界文化遺産

賀茂別雷神社(上賀茂神社)

市バス「上賀茂神社」下車

対象

20歳以上のどなたでも御参加いただけます。

参加無料〈定員100人〉

申込多数の場合は抽選。当選者の発表は参加証の発送をもって代えさせていただきます。

【講演】

上賀茂神社につたわる五節句の神事
～旧暦の重陽の節句の日～

場所：参集殿



講師：田中 安比呂（賀茂別雷神社宮司）



- ◇ 神殿の御参拝
- ◇ 五節句行事の体験

五節句の一つである重陽（旧暦の9月9日、今年は10月17日）にちなんで、杯に菊花を浮かべたお酒をいただく体験をしていただきます。

双京構想とは…日本の大切な皇室の弥栄,そしてわが国の伝統を守り,文化を発展させるため,皇室の方々に京都にもお住まいいただき,政治・経済の首都である「東京」と,歴史・文化の首都である「京都」の双方で,わが国の都としての機能を果たしていくという構想

五節句行事…五節句とは,人日(じんじつ),上巳(じょうし),端午(たんご),七夕(たなばた),重陽(ちょうよう)の五つの節日のことを言います。明治時代以降制度として行われなくなりましたが,一部の神社などでは似た行事が,文化行事として行われています。

重陽…五節句の一つ。杯に菊花を浮かべた酒を飲むほか,菊に綿をかぶせて露で湿らせる行事が行われていました。

申込方法

京都いつでもコール(京都市市政情報総合案内コールセンター)

申込受付期間:平成30年8月24日(金)~9月30日(日)

WEB <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

電話

075-661-3755 みなここ (年中無休 朝8時から夜9時)

お申し込みの際には,氏名(ふりがな),郵便番号・住所,電話番号,同伴者氏名(1名まで),参加希望者全員の年齢をお伝えください。

FAX

075-661-5855 ごようはここ

FAX応募用紙に必要事項を御記入の上,送信してください。



※おかけ間違いにご注意ください。

FAX応募用紙(五節句「重陽」体験)

ふりがな	
お名前	(歳)
御住所	〒
電話番号	

同伴者おられる場合はお名前を御記入ください

ふりがな	
お名前	(歳)

重陽の体験では杯に菊花を浮かべたお酒をいただきますが,当日自転車・自動車等を運転される方につきましては,飲酒いただけませんので,あらかじめ御了承ください。